

1. サイズ選びと型紙製作

～サイズを決める～

サイズ選びと聞くと、まずはじめにメジャーを取り出して
バストやウエストをはからなければと思われるかもしれませんが
これが洋服を作るうえでまず最初に感じるストレスです
その原因を作っているのは自分だという事も重々わかっています
だから余計嫌になってしまいます

自分のスタイルの自信を持っている人がどれくらいいるでしょうか？
まして、自分で洋服を作ろうと思っている人のほとんどは
既成の洋服では合わないとか満足できない人なのです

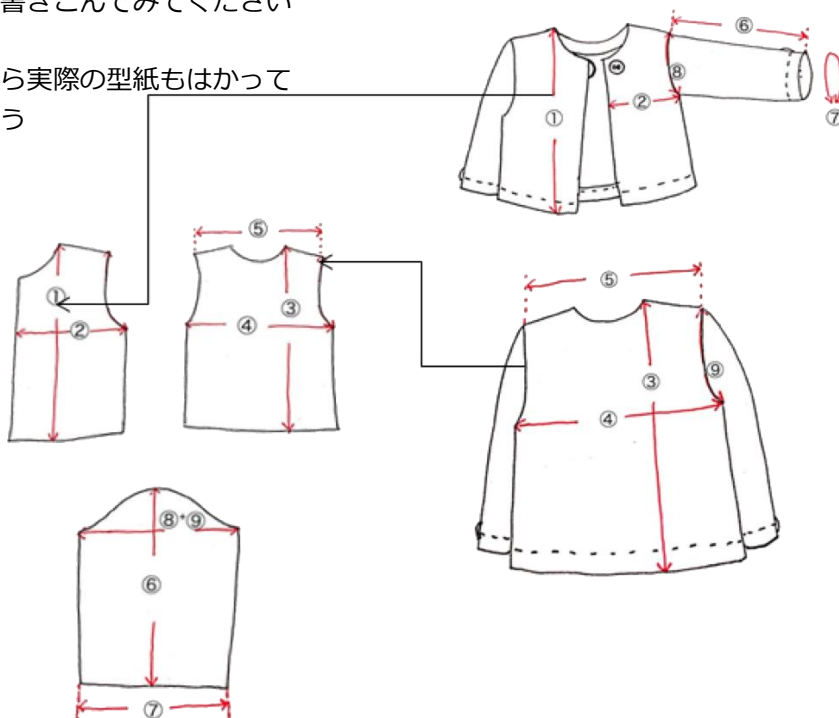
袖や丈を自分で調節したい、お腹周りだけ目立たないようにしたいなど
様々な事情を抱えているものです
採寸はできたらやりたくないものです
今回は、ジャケットを作るのに細かい採寸は必要ありません
身体に合う洋服というよりは自分の好みのサイズの洋服を作っていきます

～はかってみる～

まず、ご自身が今気に入って、サイズもちょうどいいジャケットを用意してください
なければそれに近いものでも大丈夫です
それをもとにサイズを調節していきましょう

挿絵の各サイズの欄に寸法を記入してみてください
長くしたい場合は+〇〇cm=〇〇cmのように
わかるようにどんどん書きこんでみてください

書き込み終わりましたら実際の型紙もはかって
近いものを選びましょう



～型紙に書き入れる～

次に、切り抜いた型紙に、情報を書き込んで自分仕様にしていきます

必要な情報は些細な事でも書き込みます

そうすることで、作業の途中で手をとめて参考資料を見返す手間が少しでもなくなります

まず地の目線を入れます

布の縦方向を示す矢印で

こちらの方向に布の縦を合わせる印になります

洋服は、縦の目がどこに通っているかがとても重要です

型紙には必ず ↓ このような矢印が書いてありますので

注意してみてください

前身頃・後ろ見頃・袖・ポケットなど名称を書き込みます

縫い代は(1.5)(2)(3)などのように()でくりほかの数字と区別して表記するようにします

ポケットや中心などの位置印、また前と後ろ、袖と肩など

パーツを合わせるのに便利な目印として付けておく合印なども書き込みます

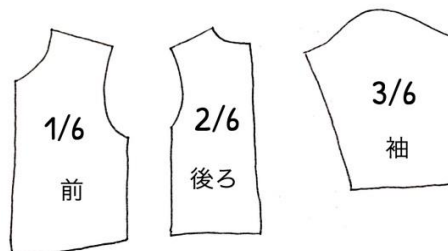
型紙のパーツの数1/6を書きます

物によってパーツの数は違います

この場合、パーツ6の中の1という事になります

2/6、3/6と進み、6/6で最後となります

使用後は必ず確認し数を揃えておきます



〇〇〇5月号〇ページジャケットというように

参考文献やサイズや用尺なども書いておくと便利です

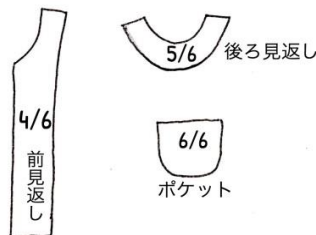
自分の名前も忘れず記して(☺☻など)

型紙作りは完成となります

このようにして完成した型紙はファイルに入れ、

イラストなどを添えておくと

次に作る時にすぐ形などが確認できて便利です



色で区別したり、イラストを加えたりして

自分なりの書き込み方法を見つけて

オリジナルの型紙を作ってみてください

型紙は、その時だけでなく気に入れば

何度となく使用して洋服を作ります

時を置いて広げてもすぐわかるように

情報を書いておくと便利です

自分用なのだからわかって当然なのですが

覚えているのは作った直後だけ

久しぶりに出してみると

案外忘れてしまうものです



型紙作りも楽しんでほしいです